

平成 2 2 年度 指定管理事業報告

北海道立十勝圏地域食品加工技術センターの設置目的「地域における食品加工技術の高度化を促進し、北海道の食品工業の発展に寄与する」を達成するため、施設等の適切な保守管理を行い、利用者へのサービス向上を図るとともに、利用の促進を行った。

1. 利用提供業務

概 要	利用実績	内 容
試験器機等を一般に広く開放し、利用指導等を行う。	機器等利用 440件 976時間 研修室利用 15件 67時間 計 455件 1,043時間	利用者に対し、適切な利用指導を行うと共に、加工・分析等の技術支援や情報提供を行う。
主な利用機器	真空凍結乾燥機、レトル殺菌装置、原子吸光分光光度計、高速液体クロマトグラフィシステム、ケルダール蒸留滴定装置、位相差顕微鏡など	

2. 利用促進業務

概 要	内 容
試験機器等の利用を促進するための情報提供等を行う。	施設利用促進のため、ホームページやパンフレット等により各種情報の提供を行うと共に、企業や関係機関との連携・協力により、効率的・効果的な利用促進を行う。 ・視察見学による来館者 215人 (主な視察者) 帯広市監査委員会事務局、JA鷗川町旭川市役所、白糠町役場、剣淵高校PTA、帯広畜産大学、帯広大谷短大(学生の視察)など

3. 施設等管理業務

概 要	内 容
利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の適切な保守管理を行う。	施設等の保守点検・法定点検・修繕を行い、常に機能を発揮できるように適正な管理を行う。 施設の衛生と美観を保つため、衛生管理を行う。 施設内外を定期的に巡視し、利用状況の把握、異常の有無を確認を行う。